楓くん、がんばったね

弘前大学教育学部附属小学校

しろそうだったからです。おおすすめの本の中にあって、表紙の絵がえい画みたいでおもおがこの本をえらんだ理由は、学校からもらった夏休みの

天国にいるお母さんです。 この本の登場人物は、小学生の楓くん、お父さん、そして、

555で、。 たひかる石に毎日話しかけて、その悲しみをのりこえていくたひかる石に毎日話しかけて、その悲しみをのりこえていろっなってしまったけれども、楓くんが、学校の帰り道でひろってのお話は、主人公の楓くんのお母さんが、きゅうになく

ました。私は、そんな楓くんがすごいなと思いました。もし、お話できるようになり、さいごには、おしゃべり上手になりさんとお話できるようになった楓くんは、とうとうお友達とも、とお話できるようになったところです。そしてお父さんけれど、ひかる石をひろって、毎日話しかけていたら、お父けれど、ひかる石をひろって、毎日話しかけていたら、お父れが心にのこったところは、楓くんのお母さんがなくなっ私が心にのこったところは、楓くんのお母さんがなくなっ

緑やむらさきといったきれいなひかりをはなつこと。そしてこと。そして、その石にしがいせんというひかりを当てると、ること。その中でも有名なのが、ほたる石という石だというがあります。知ったことは、石の中にひかる石はたくさんあ

境 紗 葵

思います。
おないと思いますし、お父さんと話すのがせいいっぱいだとけても、悲しみをのりこえて、そんなおしゃべり上手にはな私が楓くんだったら、楓くんのようにひかる石に毎日話しか

くんにとってひかる石は、友達になってくれたのだと思いま私の悲しい気持ちをいやしてくれるたすけになりました。楓にいた友達が応援の言葉をかけてくれました。その言葉が、むの悲しい思いをしたことがあります。二年生のとき、学校でい悪しれのように大きな悲しみではないのですが、私も少し楓くんのように大きな悲しみではないのですが、私も少し

私がこの本を読み終えたときに、知ったことや思ったこと

めないこと。かならずだれかが見守ってくれるから。もう一 思ったことは、もし、悲しいことがあったとしても、あきら とが大切だと思いました。 つは、悲しいことがあったら、おたがいにいやしてあげるこ